

## ◀1995年 熊本大学(前期)▶

## ♠ 理系学部

**1** 直線  $x - y - 1 = 0$  が、原点を中心とする回転によって直線  $kx - 2y + 3 = 0$  ( $k \geq 0$ ) に重なるとき、 $k$  の値と回転を表す行列を求めよ。

**2** 曲線  $C_n : y = x^n - x$  ( $n = 2, 3, 4, \dots$ ) の、点  $P(1, 0)$  における接線を  $l_n$ 、原点  $O$  における接線を  $m_n$  とし、 $l_n$  と  $m_n$  の交点の  $x$  座標を  $H_n$  とする。また、 $0 \leq x \leq 1$  において、曲線  $C_n$  と  $l_n$  および  $y$  軸によって囲まれた部分の面積を  $S_n$  とし、さらに  $C_n, l_n, m_n$  によって囲まれた部分の面積を  $T_n$  とする。

(1)  $H_n, S_n, T_n$  を  $n$  で表せ。

(2)  $\sum_{k=2}^n \frac{T_k}{S_k H_k} = H_n$  であることを示せ。

**3** 関数  $f(x) = x^4 - x^2 + \frac{1}{8}$  について、 $-1 \leq x \leq 1$  における  $|f(x)|$  の最大値を  $M$  とする。また、 $g(x)$  を  $-1 \leq x \leq 1$  で連続な関数とする。

(1)  $M$  とそれを与える  $x$  の値を求めよ。

(2)  $-1 \leq x \leq 1$  において  $|g(x)| < M$  が成り立つとき、方程式  $f(x) = g(x)$  は  $-1 < x < 1$  の範囲に少なくとも4つの実数解をもつことを示せ。

(3)  $g(x) = x^4 + ax^3 + bx^2 + cx + d$  ( $a, b, c, d$  は実数の定数) とすると、 $-1 \leq x \leq 1$  における  $|g(x)|$  の最大値は  $M$  以上であることを示せ。

**4** 表の出る確率が  $p$  ( $0 < p < 1$ ) である硬貨がある。この硬貨を投げ続け、各回投げたあとでそれまでに表が偶数回出ていれば1点加点し、奇数回出ていれば1点減点するゲームを行う。持ち点0から始めて、硬貨を  $n$  回投げた時点での点数の期待値を  $E_n$  とする。

(1) この硬貨を  $n$  回投げて、表の出た回数が偶数である確率を  $a_n$  とする。このとき、 $a_n$  を  $a_{n-1}$  で表せ ( $n \geq 2$ )。

(2) 上で定義した  $a_n$  を求めよ。

(3)  $E_n$  および  $\lim_{n \rightarrow \infty} E_n$  を求めよ。

## ♠ 文系学部

**1** 体積  $V$  の粘土がある。これを用いて作った球の表面積を  $S$  とする。この粘土を  $2^n$  等分 ( $n = 1, 2, 3, \dots$ ) して作った  $2^n$  個の球の表面積の和を  $S_n$  とするとき、 $S_n > 210S$  となる最小の自然数  $n$  を求めよ。ただし、 $\log_{10} 2 = 0.3010$ ,  $\log_{10} 3 = 0.4771$ ,  $\log_{10} 7 = 0.8451$  とする。

**2** 次の問いに答えよ。

(1) 焦点が  $(0, 0)$  と  $(2, 0)$  で、長軸の長さが4であるだ円の方程式を求めよ。

(2) 点  $(2, 0)$  と  $(2\sqrt{3}, 2)$  を結んだ線分の垂直二等分線は、(1)のだ円に接することを示せ。

**3**  $n$  を2以上の自然数とする。曲線  $C : y = x^n - x$  の、点  $P(1, 0)$  における接線を  $l$ 、原点  $O$  における接線を  $m$  とするとき、次の問いに答えよ。

(1)  $l$  と  $m$  の交点の座標を求めよ。

- (2)  $0 < x < 1$  で曲線  $C$  は  $l$  および  $m$  より上側にあることを示せ .
- (3)  $0 \leq x \leq 1$  において, 曲線  $C$  と  $l$  および  $y$  軸によって囲まれた部分の面積を  $S$  とし, また,  $C, l, m$  によって囲まれた部分の面積を  $T$  とするとき,  $\frac{T}{S}$  を求めよ .

**4** 空間の 2 点  $A(0, 1, 0), B(0, 0, 1)$  に対して, 平面  $x + y + z = a$  上の点  $P$  が  $AP = BP$  を満たしながら動くとする .

- (1)  $AP$  を最小にする点  $P$  の座標を求めよ .
- (2) (1) の点  $P$  に対して,  $90^\circ \leq \angle APB \leq 180^\circ$  となる  $a$  の範囲を求めよ .

### 出題範囲と難易度

#### ♣ 理系学部

- 1** 標準 代幾 1 次変換
- 2** 標準 基解 数列・微分積分
- 3** 標準 基解 微分積分
- 4** 標準 基解 数列・微積 数列の極限・確統 確率分布

#### ♣ 文系学部

- 1** 標準 基解 指数関数・対数関数
- 2** 標準 代幾 2 次曲線
- 3** 標準 基解 微分積分
- 4** 標準 代幾 ベクトル・空間座標

## 略解

## ◇ 理系学部

$$\mathbf{1} \quad k = \sqrt{14}, \quad \begin{pmatrix} -\frac{\sqrt{14}+2}{6} & \frac{\sqrt{14}-2}{6} \\ -\frac{\sqrt{14}-2}{6} & -\frac{\sqrt{14}+2}{6} \end{pmatrix}$$

$$\mathbf{2} \quad (1) \quad H_n = \frac{n-1}{n}, \quad S_n = \frac{n(n-1)}{2(n+1)}, \quad T_n = \frac{n-1}{2n(n+1)}$$

(2) 証明は省略

$$\mathbf{3} \quad (1) \quad M = \frac{1}{8} \quad \left( x = 0, \pm \frac{1}{\sqrt{2}}, \pm 1 \right)$$

(2) 証明は省略

(3) 証明は省略

$$\mathbf{4} \quad (1) \quad a_n = (1-2p)a_{n-1} + p \quad (n \geq 2)$$

$$(2) \quad a_n = \frac{1}{2}(1-2p)^n + \frac{1}{2}$$

$$(3) \quad E_n = \frac{(1-2p)\{1-(1-2p)^n\}}{2p}, \quad \lim_{n \rightarrow \infty} E_n = \frac{1-2p}{2p}$$

## ◇ 文系学部

$$\mathbf{1} \quad n = 24$$

$$\mathbf{2} \quad (1) \quad \frac{(x-1)^2}{4} + \frac{y^2}{3} = 1$$

(2) 証明は省略

$$\mathbf{3} \quad (1) \quad \left( \frac{n-1}{n}, -\frac{n-1}{n} \right)$$

(2) 証明は省略

$$(3) \quad \frac{T}{S} = \frac{1}{n^2}$$

$$\mathbf{4} \quad (1) \quad P\left(\frac{a-1}{3}, \frac{2a+1}{6}, \frac{2a+1}{6}\right)$$

$$(2) \quad \frac{2-\sqrt{6}}{2} \leq a \leq \frac{2+\sqrt{6}}{2}$$